

リメイクによるメンズファッション

30番 山崎 孝司

<制作意図>

私たちの服装は流行によって常に変化している。古くなったり、流行遅れで着られなくなった物や、またはデザインに飽きてしまったりして着なくなった服は多い。それらは売ったり譲ったりして有効活用されることもあるが、多くは捨てられたりタンスの肥やしになったりしてしまいます。私は有効活用の一つの方法であるリメイクというものに注目して、着なくなった服に手を加えることで、新しく見せたり違った物にしようと考え、一着だけの服を制作したいと思った。

<制作過程>

- 1、テーマ設定
↓
- 2、資料収集
↓
- 3、デザイン展開
↓
- 4、スタイル画作成
↓
- 5、素材（古着など）収集
↓
- 6、裁断
↓
- 7、仮縫い
↓
- 8、補正
↓
- 9、本縫い
↓
- 10、仕上げ

<デザインコンセプト>

- ・スタイルA 大きめの素材を主に使用し、主流となっている重ね着のスタイルをベースとして、民族的なイメージを出そうと考えた。
- ・スタイルB 一つのシャツに手を加え、全く違うイメージのものにしようと考えた。ズボンは、丈が短いものを、体に合うようにアレンジしながら仕立て直し、左右違う色にするなど少し大胆にデザインした。
- ・スタイルC たくさんのTシャツを使い、パッチワークという手法で、一つの物を作りたいと考え、食品店などの店員の人がよく着用している前掛けをイメージとして制作してみた

<考察>

- 全体的に現在街角でみられる若者のファッションに近いイメージの作品に仕上がりました。若者に少しでも受け入れられるようなものになったかと思います。
- ・スタイルA 重ね着ということもあり、全体の色のバランスを考えるのが素材も思うように集まらなかったこともあり、難しかったが全体的にうまくまとまったかと思います。
- ・スタイルB ボタンと黒いタグによってパジャマに見える服をジャケット風のイメージに大きく変えることができたと思う。
- ・スタイルC 着られなくなったTシャツなどの服を使ってパッチワークという技法を取り入れ、実用性を証明しながら、普段着のファッションの楽しさを表現できたと思います。

スタイルA



スタイルB



スタイルC

